

大崎上島における海藻を使った町おこしについて

加藤亜記

広島大学大学院生物圏科学研究科附属瀬戸内圏フィールド科学教育研究センター竹原ステーション

大崎上島は、瀬戸内海中部の芸予諸島に位置する広島県の離島で、主な産業は、柑橘栽培と水産業である。2013年3月現在で、島の総人口（大崎上島町）約8千人に占める65歳以上の人の割合は45.5%と広島県で最も多く（広島県, 2013）、人口減少と高齢化が進んでいる。こうした状況に対して、町では様々な地域・産業振興の対策が長年続けられてきている。筆者は、2012年より、大崎上島での海藻に関する教育・研究面で町おこしに関与する機会を得たので、この島での海藻を使った地域・産業振興について紹介する。

「海藻」を冠した町おこしとしては、1980年代後半に、大崎上島の旧東野町で「海藻公園構想」が発案され、国の支援のもと、おもに水産業の振興と観光・リゾート産業の形成を軸に事業が展開された。もともとは、アワビ養殖事業として、アワビの餌となる海藻を調査した際に、町の周辺海域から約150種もの海藻の生育が確認されたのがきっかけである（東野町, 1990）。この「海藻公園構想」のため、国内外から専門家が島に招待されて、数回にわたってセミナーが開かれ、海藻の利用や効用はもとより、観光開発や生涯学習について幅広く情報交換が行われた。この構想には、学術的意義として、海の自然環境や資源利用のた

めの研究所や国際交流の場の形成まで盛り込まれた。しかし、こうした取り組みは、専門家の議論に終始して地域住民を巻き込んだ活動には結びつかず、この構想は実現しなかった。さらに、アワビ養殖事業や、同時期に行われた、海水浴場にバンガローを備えた滞在型リゾート開発も不振に終わり、現在まで、この構想に関連した事業は行われていない。

「海藻公園構想」の後、行政主導の海藻に関する産業振興は行われなかったが、数年後、おもに島外の有志、とくに広島市元宇品を中心に生物の教育・啓発活動を行っていた「ひろしま生きた自然博物館」の関係者による、旧大崎町での海藻や貝類などの調査が行われた。この調査をもとに、町の予算で追加の調査が行われ、2003年3月には、旧大崎町で見られる海藻153種が、陸上植物、海産無脊椎動物、鳥、きのこ、半化石とともに160ページのカラー図鑑として町から出版された（大崎町, 2003）。しかし、折しも翌月の4月には、3町が合併して島全体が大崎上島町となる時期であったため、この図鑑の積極的な宣伝はなされず、その後も、島の小中学校での教育・啓発活動での活用等には至らなかった。

その後、さらに約10年の空白期間を経て、2012

年に「磯の観察会」として海藻の採集体験会が春から夏にかけて開催された（図 1, 2）。この観察会は、町の商工会主催の教育・啓発に重点をおいた企画で、前述の図鑑製作に関わったメンバーの協力のもとに運営された。この観察会まで、海藻に限らず、大崎上島では、教育・啓発活動を企画する文化はなかったとのことである。2013年からは、こうした取り組みをもとに、民間団体として発足した「大崎上島町食文化海藻塾」として、海藻を使った特産品の開発や、伝統的な海藻料理の伝承、浅海域の動植物の教育・啓発活動を行っている。

この取り組みは、同年度にスタートした水産庁の水産多面的機能発揮対策事業に採択されている。この事業は、特定の水産物生産に特化したものではなく、水産物の安定供給を支える漁村の環境、伝統文化、コミュニティーなどの社会的基盤

を総合的に支援する事業で、漁村を抱える日本の地域社会の多くが衰退の危機にある現状を踏まえたものである（水産庁, 2013）。2014年2月現在で、全国で421市町村の810もの組織が活動を行っており、とくに藻場の保全には275組織、文化の伝承や教育・啓発には224組織が取り組んでいる（JF全漁連, 2014）。こうした取り組みが成功したかどうかは、やはり、実際に地元の経済が活性化することに繋がったかどうかで評価されると思われる。既に衰退傾向にある文化やコミュニティーを短期的な経済効果によって維持・発展させることは容易でなく、かといって、経済的基盤なくしては、こうした社会的基盤の存続も危うい。筆者としては、大学としての地域貢献のあり方を模索しながら、今後の事業の経過を見守りたい。



図 1. 磯の観察会で採集した海藻の解説の様子。
（写真：新宅航平）



図 2. いぎす豆腐（上）と材料海藻の「いぎす」（下）。
材料の正確な種名は、紅藻イバラノリとカズノイバラ。（写真：新宅航平）

謝辞

大崎上島町食文化海藻塾の道林清隆氏に、同塾での筆者らの活動の機会をいただき、本原稿作成にご協力いただいたことに厚く御礼申し上げます。

引用文献

JF 全漁連 <http://www.hitoumi.jp/> (2014): 水産多面的機能発揮対策情報サイト, hitoumi.jp(2014年5月23日閲覧)

水産庁 http://www.jfa.maff.go.jp/j/gyosei/supply/hozyo/130304_s29.html
(2013) : 平成 25 年度水産多面的機能発揮対策支援事業の公募について。(2014 年 5 月 23 日閲覧)

広島県 <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/63/1279598930406.html>
(2013) : 各市町別高齢化率。(2014 年 5 月 23 日閲覧)

大崎町 (2003) : 大崎町自然ガイドブック. 大崎町, 広島, 160pp.

東野町 (1990) : 海藻公園構想. 東野町, 広島, 83 pp.